



ももたろうくん

ももたろう通信



発行日：2023年6月30日
発行：社会福祉法人つどいの家 グループホーム
発行責任者：飯田克也（グループホーム管理者）
住所：〒984-0823
仙台市若林区遠見塚2-16-15（ピポット若林）
連絡先：022-282-4671

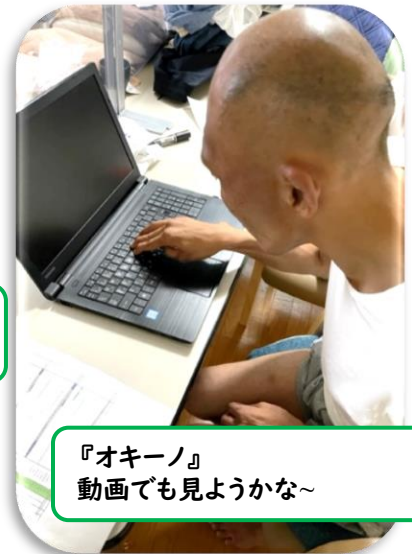
※ももたろう通信の由来：仲間と助け合い、共に作る広報誌



『ひかりはうす』
自室で楽しく過ごしています！



『さくらはうす』
買い物後にバスプールでバスに夢中です！



『オキーノ』
動画でも見ようかな～



『にじいろ』
我らコーヒー党！



『ひこうき雲』
手を繋いで、笑顔で仲良く散歩しました～

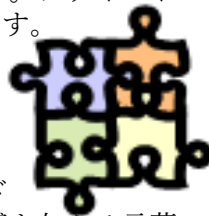
グループホーム
ベストショット集～2023. 6～

管理者より

5月から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行し、行動制限のない季節性インフルエンザと同等の取扱いとなりました。感染対策は個人の判断に委ねられるとされています。これまで多くの制限がありましたので、緩和されたことは嬉しい反面手放しで喜ぶことはできません。新型コロナウイルスの感染力が弱くなったわけではなく、グループホーム入居者の方は感染した場合、重症化するリスクが高く、また感染予防のためのマスク着用が難しいこと等から、入居者、スタッフともにこれまで通りの感染対策が引き続き必要となります。社会全体では緩和が進んでいますが、福祉や医療の現場ではこれまで以上に感染動向に注視していかねばなりません。しかし過剰な感染対策は生活の質を下げってしまうため、入居者の方の希望をその都度確認しながら取り組んでいきたいと思っております。

6月初め深緑の杜の都を駆ける仙台国際ハーフマラソンが行われ、7千人を超えるランナーが仙台の街を駆け抜けました。ブラインドマラソンをご存知ですか。ブラインドマラソンは、視覚に障害のあるランナーと併走者がガイドロープを手にして走るマラソンです。東京パラリンピック2020の女子マラソンでは道下選手が金メダルを獲得しています。ブラインドマラソンの併走者は、コースのカーブやアップダウン等、視覚に障害のあるランナーが必要とする情報を的確な言葉にして伝える役割があります。ブラインドマラソンの併走者をされている方は「走るうえでランナーが必要としている声かけは様々です。そのため、併走するランナーの希望に合わせて、どのような声かけをすれば走りやすいか事前に確認するようにしています」「曲がり角や勾配などに入る時にも少し前からあと50メートルほどで左などと具体的に伝えたり、曲がる瞬間には3・2・1とカウントすることもあります。ランナーのモチベーションを落とさないようにポジティブな言葉を使うといったことも心がけています」と話されています。日々の入居者の方への声かけはブラインドマラソンの併走者のようにできているだろうか。「物事を具体的に伝える」ことや「安心感を与える言葉選び」がとても大切であることをブラインドマラソンの併走者の方の話聞きあらためて感じました。

(グループホーム管理者 飯田)



いつもお世話になってます～✕○✕散髪編✕○✕

今回は入居者の方がお世話になっている『とこやのやまちゃん』さんへインタビューをさせていただきました！

Q. このお仕事を始めたきっかけは？

→母の体が弱く、脳梗塞で半身不随になってしまったので訪問理容が良いのではないかと思います、以前働いていた理容室でノウハウを覚えて独立して始めたのがきっかけです。

Q. 入居者の印象はどうですか？

→アットホームな雰囲気が入居者様も穏やかな表情をしているのが印象的です。
お店でやってたい時から、今カットしている方に良くして頂いていました。

Q. 今後どのようなことをしていきたいですか？

→障害をお持ちの方や高齢者様の専門のお店としてやっていきたいです。
床屋に行けない方などの手助けが出来ればと思っております。



散髪中のひとコマ

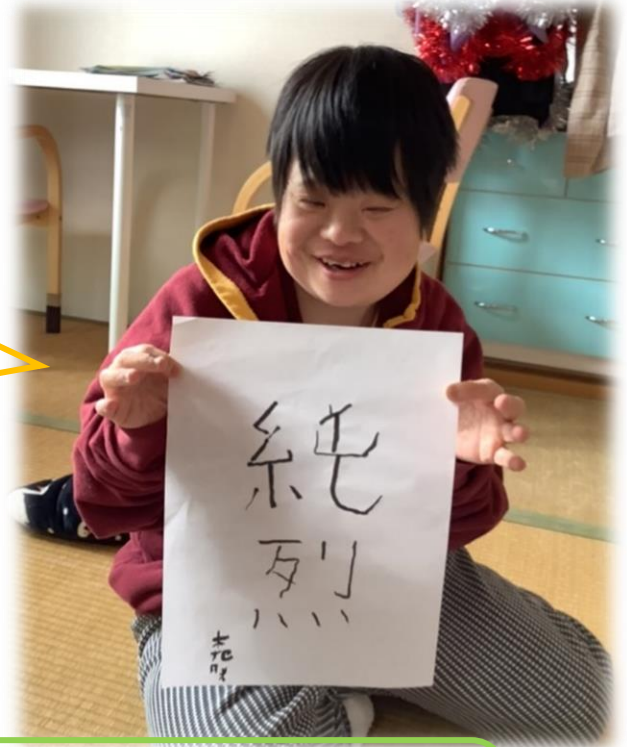
(記：志藤)

いつもありがとうございます！そしてこれからもよろしくお願ひします。

グループホーム紹介～ひかりはうす編～

今回は、ひかりはうすの入居者
Oさんについて紹介します！！

一番夢中なのは、健康センターやスーパー
銭湯の公演で人気の“純烈”という4人グル
ープです。普段はDVDを観て歌っています
が、先日は移動支援サービスを利用し、ヘル
パーさんとカラオケ店へ行き、大熱唱の
Oさんでした♪！



休日は自室で刺しゅう(刺し子)や折り紙で
色々な作品作りもしています。
難しい絵柄にもチャレンジしました！



ヘルパーさんや世話人さんと一緒に買い物やラ
ンチに出かけることも大好き！
「ハンバーグが良いかな～？」「パスタが良いか
な～？」と何を食べるかを楽しみながら考えてい
ます！



(記：坂本)



改めて『グループホームとは?』を考える

障害者のグループホームスタッフ
ハンドブック



～第3版～
全国グループホームスタッフ・ネットワーク編
Eプランニング

グループホームに関わる支援者に向けて作られたハンドブック「きほんのき」(全国グループホームスタッフ・ネットワーク編)が今年改訂されました。そこでつどいの家グループホームでは全職員みなさんにこのハンドブックを読んでいただきました。今回はハンドブックを通して改めて『グループホームとは?』を考え、本の感想と実際のグループホームでの入居者の暮らしを紹介します。

『障害者のグループホームスタッフハンドブック～きほんのき』を読んで

冒頭にグループホームは「自分の家です、施設ではありません」の1文が載っています。この1文にグループホームスタッフの心得が詰まっていると思います。日々の支援の中で意識していなくとも「支援」ではなく「指導」になることがあります。何でも代わりにしてあげることが世話人の役目ではありません。入居者の方が暮らしていて「安心」と感じられるよう、「指導」になっていないか1度立ち止まって考えることの大切さを学ぶことが出来ました。

(記：宮本)

..実際のグループホームでの暮らし..

Iさんのある1日



時刻	予定
8:10	起床
8:15	朝食
8:45	通所準備
9:15	通所へ出発
16:20	帰宅&ティータイム
17:00	入浴
17:30	余暇 (パズル、塗り絵など)
18:45	夕食
19:10	整容、余暇
21:00	就寝

お部屋でビデオを見たりもするよ



何番に入るう?

Mさんのある1日



6:00	起床
7:00	朝食
8:00	余暇&通所準備
9:00	通所へ出発
16:00	帰宅&ティータイム
17:00	余暇&入浴 (財布の中身の整理等)
18:00	夕食
19:00	余暇 (部屋でのんびりテレビ等)
22:00	就寝



今日はいくら使ったかなあ...



(記：増本・高階)

【編集後記】

今年も暑い季節を迎えようとしています、みなさま体調いかがですか？

先日テレビのニュースを見ていたら実家の地名が日本最高気温観測地点として紹介されていてびっくりしました(福島です)。5月なのに36度、、、ちなみに観測史上記録は39.7度だそうです。(記：佐藤靖志)